

景況レポート

(8月分・情報連絡員80名)

県内景況は足踏み状態 ～個人消費、公共工事等需要が低迷～

【概況(全体)】8月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが18.8%(前回調査18.8%)、「悪化」が37.5%(同33.8%)で、業界全体のDI値は-18.7となり、前月調査と比較して3.7ポイント下回った。

業種別の主な業況は、製造業では前月に引き続き繊維工業(繊維)、鉄鋼・金属の受注が前年同月比で増加しているものの、食料品では原材料等コストの増加や気温の上昇等による販売不振等により売上が悪化したほか、木材・木製品では需要の低迷により悪化割合が増加した。

一方、非製造業では、前月に引き続き卸売業(青果)や建設業(電気工事)の売上・受注が前年同月比で好転しているほか、商業卸(県南地区)や家電小売が好調に推移したが、石油小売はマージンの低下により収益が悪化しており、共同店舗や地域の商店街では売上が低迷し、全体として悪化割合が増加した。

なお、依然として原材料等コストの増加が収益を圧迫しているほか、個人消費の低迷や公共工事、住宅着工等の需要の減退といった不安材料も散見されるため、今後の先行きは慎重に見極める必要が増している。

【概況(製造業)】製造業のDI値は-9.4と前月調査と比べ6.2ポイントダウンし、平成27年2月以来の悪化となった。

○木材・木製品では需要の低迷に加え休日が多かったこと等により設備稼働度が低下したが、今後は住宅関連需要の回復を見込んでいる。

○一方、食料品では、味噌醤油や清酒は前年同月比で出荷量が増加したが、パン、生菓子等は、円安等により原材料等コストアップが収益を圧迫している中で、夏場の暑さが影響したため販売不振となり、製造業全体の景況感を押し下げた。

【概況(非製造業)】非製造業のDI値は-25.0となり、前月調査と比べ2.1ポイント悪化した。

○家電小売では、冷房機器等の販売が好調に推移したほか、助成金の効果によりLED照明器具の需要が増加した。

○一方、運輸業では、燃料価格の低下により収益は前年同月比で改善したものの、荷動きは依然として低迷しており、景況感は「好転」から「不変」へと下方に転じた。

○石油小売ではマージンの低下により収益状況が悪化し、前年同月比で「悪化」に転じた。

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業						
非製造業						

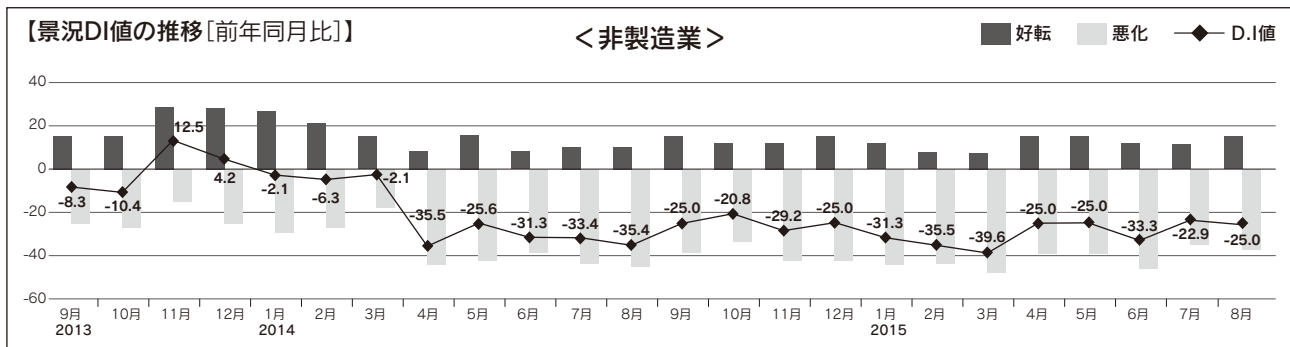
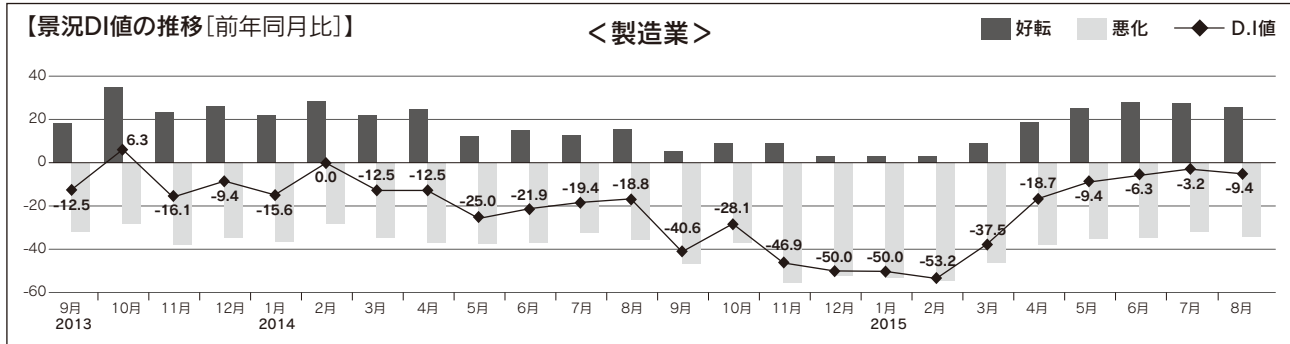
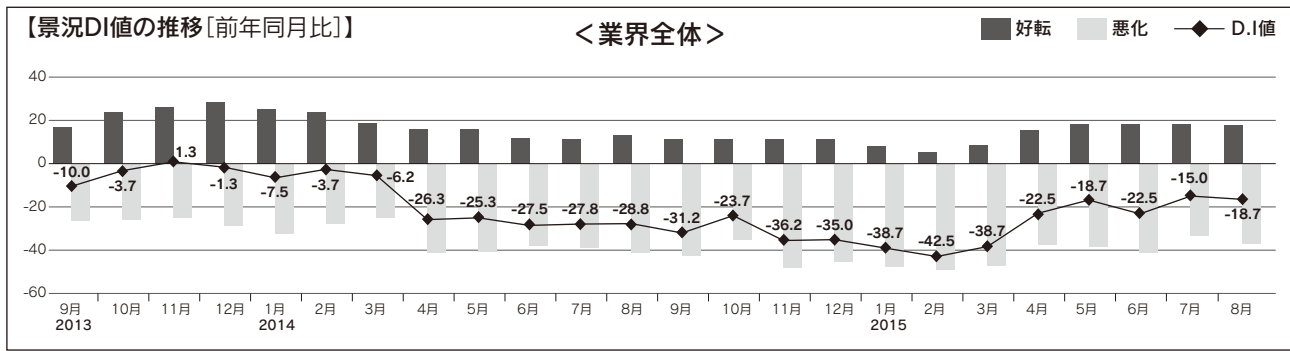
【凡例】
 快晴 30以上
 晴れ 10以上 30未満
 曇り 10未満
 雨 Δ10以上 Δ30未満
 雷雨 Δ30以下
 【天気図の見方】
 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

【業界の声】 ～製造業～

(回答数：32名 回答率：100%)

食料品 (パン)	8月上旬から中旬にかけて高温の日が続いたため、売上が低迷した。なお、依然として原材料等の高騰により収益が圧迫されている。
食料品 (味噌醤油)	7月の味噌の出荷量は前年同月比で119.3%、醤油の出荷量は前年同月比103.7%で推移した。
繊維工業 (繊維製品)	国内生産傾向が顕著になっている一方で、工場数や人員が減少傾向にあるため、集中的な発注により受注が増加している。なお、取扱商品によって受注状況にバラツキが見られる。(中央地区)
木材・木製品 (一般木材)	8月はお盆休みの前後に荷動きが止まったため、売上は前月比で減少となったが、前年同月比では700万円の増加となった。9月から10月にかけて更なる需要の増加を見込んでいる。(中央地区)
印刷	仕事量の減少と官民ともに事業予算が減少しているという負のスパイラルが蔓延しているため、定期的な仕事の予定が立たず不安定な状況にある。(県南地区)
窯業・土石製品 (生コンクリート)	8月の出荷数量は前年同月比89.3%、4月～8月の累計では前年比83.1%と前月に比べ減少幅は縮小しているが、想定している出荷数量にはほど遠い状況で推移した。例年9月から10月にかけて出荷数量がピークを迎えるため、動向を注視している。
鉄鋼・金属 (鉄鋼)	前月に引き続き各社とも当面の受注は確保しており収益面も好転傾向にあるが、稼働度が100%に達していても雇用の増加は見られない。
一般機器 (金属加工)	各社によって売上にバラツキが見られ、今月の売上は前年同月を下回る結果となった。なお、収益面では依然として厳しい状況が続いている。
その他の製造業 (漆器)	「木地山こけし展」や「蔵出し市」等の開催により、工芸館では来館者数、売上とも前月を上回ったほか、秋田県から受注した酒器の製作や10月に控えている「川連塗りフェア」の準備等により、産地は活性化してきている。また、インターネット経由による体験教室への参加申込が増加している。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

卸売業 (商業卸)	建築資材関係では、地区内で箱物の物件が増加したことにより、売上・収益が回復傾向にある。(横手市)
卸売業 (青果)	8月の売上は、前年同月比117.7%で推移した。高温と雨不足の影響により野菜の入荷量は例年の6割まで減少したため、価格は3割ほど上昇している。
小売業 (共同店舗)	一般食品及び総菜の売上は、ディスカウント店の影響や地域人口の減少等により前年同月比で10%以上の減少という厳しい状況が続いている。(能代市)
小売業 (電機)	売上は、前年同月比ではほぼ横這いで推移した。景気回復の実感はないが、好天が続くエアコンを始めとした白物家電の動きが良かった。また、助成金の効果によりLED照明器具の需要が増加した。なお、助成金の受付期限が延長されたため、今後も訪問販売等を強化し更なる売上増加に繋げたい。
商店街	大手スーパーの閉店により、物販(生鮮)の減少等が影響し、業況は低調に推移している。(鹿角市)
サービス (旅館ホテル)	シルバーウィークを控え、例年のお盆休みに比べ個人客の動きが鈍かったため、入り込み客数が落ち込んだ。
建設業 (電気工事)	ハウスメーカーからの受注は引き続き順調に推移している。また、民間住宅の増改築工事の受注がやや増加傾向にある。(大仙市)
建設業 (一般建築)	公共事業の出足が鈍い状況が続いているため、売上、収益とも前年同月を下回っており、資金繰りも悪化している。
運輸業 (トラック)	8月も前月と同様に荷動きが低迷したが、燃料価格は前年同月よりも安値で推移しているため、収益は増加傾向にある。なお、今後は受注確保やドライバー不足等の課題が山積している。(県南地区)
その他の非製造業 (砂利採取)	公共工事、民間工事ともに低調に推移しているため、生コン用骨材や路盤材等の荷動きは依然として低調のままである。(県南地区)